

2023年 「新生児聴覚スクリーニング検査」調査報告

新生児聴覚スクリーニング検査（以下 新スク）の実施機関様には、いつもご協力いただきありがとうございます。2024年3月に行いましたアンケート調査についてご報告させていただきます。

1. 目的

新スクに関する実態調査を行い現状及び課題を把握することで、検査体制の円滑な実施に資する。

2. 対象機関

県内の新生児を扱う医療機関（産科、産婦人科、新生児科）及び助産施設

3. 調査方法

県内の新生児を扱う医療機関及び助産施設に郵送で調査

4. 調査対象

2023年1月1日～2023年12月31日までに新スク実施機関にて出生した児

5. 集計結果

沖縄県の出生児数	12,878名	(沖縄県 HP より；2023)
アンケート回収率	82.7%	(24/29 施設 分娩施設 ^{※4})
対象児数	10,634名	
初回検査実施数	9950名 (93.6%)	(全国 95.2%；2022年 ^{※3})
検査未実施数	NICU 搬送	130名
	希望せず ^{※1}	237名 (2.2%) (全国 1.3%；2022年 ^{※3})
要再検査率 ^{※2}	2.7%	(全国 自動 ABR ^{※5} 1.7%、 OAE ^{※6} 3.8%；2022年度 ^{※3})
初回検査の公費助成市町村 ^{※3} (2024年6月現在)	15市町村 (36.5%)	(全国 79.9%；2022年度 ^{※3})

※1 希望せず：検査を希望されなかった人数

※2 要再検査率：初回検査の要再検査率

※3 こども家庭庁 令和4年度「新生児聴覚検査の実施状況等について」より

※4 県内の新生児を扱う医療機関及び助産施設

※5 自動 ABR：Automated Auditory Brainstem Response

※6 OAE：耳音響放射（Otoacoustic Emission）

2023年に検査を希望しなかったお子さんは237名であり、昨年に比べ増加しています。一人でも多くのお子さんが検査を受けられますよう、実施機関の皆さまには引き続きご協力をお願いいたします。検査の啓発用リーフレット（きこえの支援センターのホームページからダウンロード可）もありますので、ご活用いただければ幸いです。

2025年3月にも調査依頼を予定していますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。